

『JVA 2024 年上半期(1月～6月) 統計調査結果』について

当協会はこのたび、2024 年上半期(1月～6月)の JVA 会員メーカーのビデオソフト出荷統計をまとめましたので、その概要につきお知らせいたします。

2024 年上半期 (1月～6月) の実績について

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は 440 億 5,200 万円で前年同期比 77.2%となった。フォーマット別にみると、DVD ビデオは 138 億 300 万円で前年同期比 65.4%、ブルーレイ (Ultra HD Blu-ray を含む。以下、ブルーレイと表記。) は 302 億 5,000 万円で同 84.1%となっており、DVD ビデオ、ブルーレイともに前年同期を大きく下回る結果となった。DVD とブルーレイの構成比率をみると、前年同期に比べてブルーレイの比率が増加し 68.7%となっている。

<添付資料 表 1 >

2. ビデオソフト全体 (DVD ビデオとブルーレイの合計) の売上金額を販売用、レンタル店の市場別にみても、販売用が 403 億 2,100 万円で前年同期比 77.5%、レンタル店用は 30 億 6,200 万円で同 70.6%となっており、販売用、レンタル店用ともに前年同期を大きく下回る結果となった。販売用、特殊ルート、レンタル店用、業務用の売上金額における割合は、91.5 対 0.8 対 6.9 対 0.7 となっており、前年同期と比べ販売用が増加、レンタル店用が減少となっている。

<添付資料 表 4 >

3. DVD ビデオの販売用売上金額は 106 億 7,400 万円で前年同期比 65.4%と、ブルーレイの販売用は 296 億 4,700 万円で同 83.9%となっており、こちらも DVD ビデオ、ブルーレイともに前年同期を大きく下回る結果となった。また、販売用全体に占めるブルーレイの割合は 73.5%となり、前年同期から増加傾向となっている。

<添付資料 表 5A >

販売用全体の売上金額をジャンル別にみても、『音楽 (邦楽)』が構成比 37.8%で第

1位となった。しかし同ジャンルは前年好調であったこともあり、前年同期比は57.1%と大きく下回っている。一方、構成比30.9%で第2位の『日本のアニメーション（一般向け）』は前年同期比103.1%、構成比6.5%で第4位の『邦画（TVドラマを除く）』は同154.6%と、ともに前年同期を上回った。また、構成比7.5%で第3位の『日本のTVドラマ』は前年同期比73.4%と前年同期を大きく下回る結果となった。第1位の『音楽（邦楽）』では、『なにわ男子 LIVE TOUR 2023' POPMALL'』や『King & Prince LIVE TOUR 2023 ~ピース~』等の作品が売り上げに貢献した。今年好調であった第2位の『日本のアニメーション（一般向け）』は『THE FIRST SLAM DUNK』が、第4位の『邦画（TVドラマを除く）』は『ゴジラ-1.0』といった作品がそれぞれ構成比拡大に貢献した。上位2ジャンルで、販売用全体の7割近くを占めている。

<添付資料 表7>

4. ブルーレイの販売用をジャンル別に見てみると、『音楽（邦楽）』が構成比36.9%で第1位となったが、前年同期比は63.6%と前年同期を大きく下回っている。一方、構成比35.9%で第2位の『日本のアニメーション（一般向け）』は前年同期比102.3%、構成比5.8%で第4位の『邦画（TVドラマを除く）』は同173.4%とそれぞれ前年から伸長した。また、構成比5.9%で第3位の『日本のTVドラマ』は前年同期比73.4%と前年同期を大きく下回る結果となった。

<添付資料 表7>

5. DVDビデオの販売用をジャンル別に見てみると、『音楽（邦楽）』が構成比40.2%で第1位となったが、前年同期比は45.2%と前年同期を大きく下回っている。一方、構成比16.9%で第2位の『日本のアニメーション（一般向け）』は前年同期比108.2%、構成比8.2%で第4位の『邦画（TVドラマを除く）』は同127.5%とそれぞれ大きく伸長した。また、構成比12.1%で第3位の『日本のTVドラマ』は前年同期比74.3%と前年同期を大きく下回る結果となった。

<添付資料 表7>

6. レンタル店用全体の総売上金額におけるDVDビデオとブルーレイの構成比は、93.7対6.3となり、DVDビデオが全体の殆どを占める状況が続いている。DVDビデオのレンタル店用の売上金額が28億6,800万円で前年同期比69.1%、ブルーレイは1億9,300万円で同105.0%と、ブルーレイのみ前年同期を上回る結果となった。

<添付資料 表5B>

7. レンタル店用全体の売上金額をジャンル別にみても、構成比26.4%で第1位の『日本のアニメーション（一般向け）』が前年同期比83.1%、構成比20.5%で第2位の『アジアのTVドラマ』が同53.8%、構成比17.0%で第3位の『邦画（TVドラマを除く）』

が同 89.4%と、それぞれ前年同期を大きく下回った。この上位 3 ジャンルで、レンタル店用全体の 6 割以上を占めている。一方、構成比 14.2%で第 4 位の『洋画(TVドラマを除く)』は前年同期比 103.5%と上位 4 ジャンルの中で唯一前年同期を上回る結果となった。

<添付資料 表 8 >

8. 売上金額を売上数量で割って求めた 1 枚当たりの単価を見てみると、DVD ビデオ及びブルーレイの「販売用」の平均単価は DVD ビデオで 3,561 円、ブルーレイで 6,806 円となっており、ブルーレイについては前年同期から単価が大きく上昇した。また、「レンタル店用」の平均単価も DVD ビデオで 1,464 円、ブルーレイで 2,428 円となり、こちらもブルーレイのみ前年同期から単価が上昇した。

<添付資料 表 6 >

以 上

追記

<本統計調査報告についての注意点>

- 本報告は、JVA 会員社が発売、販売する自社作品および他社作品の出荷段階の売上をまとめた統計である。
- 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引いている。
- DVD とブルーレイのコンボ作品はブルーレイにカウントしている。
- 「日本の子供向け(アニメーション)」などにある“子供向け”とは、目安として 9 歳以下の子供を対象とした作品のこと。
- ブルーレイの売上には Ultra HD ブルーレイの売上を含む。
- 「特殊ルート」とは、雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるものの売上のこと。